

# 新ごみ処理施設整備・運営事業 提案概要

## 施設コンセプト

3つの「つながり」を大切に貴組合の基本コンセプト・方針を実現します

### ① 資源循環のつながり

～ストーカ炉+灰資源化による資源循環～

### ② 地域とのつながり

～地域の生活環境に溶け込む施設～

安全・安心  
運転

周辺調和

防災拠点

最新技術  
灰資源化  
ごみ発電

### ③ 未来へのつながり

～堅牢な施設、魅力的なプログラム～

経済性

貴組合・住民と同じ目線で考え、つながり合いを大切に、ともに歩む

#### 施設整備7つの基本コンセプト

- ① 地元住民に安心してもらえる施設
- ② 循環型社会に配慮した施設
- ③ 周辺環境と調和した施設
- ④ 環境に十分配慮した施設(処理性能に優れた施設)
- ⑤ 地域に開かれた施設
- ⑥ 経済性に優れた施設
- ⑦ 防災の拠点となる施設

#### 施設整備4つの基本方針

- ① 国内最高水準の安全・安心な施設づくり
- ② 資源循環型社会の拠点となる施設づくり
- ③ 市民の生活・活動をサポートし、利用したいと思われるような施設づくり
- ④ 地域の生活環境に溶け込んだ環境調和型の施設づくり



<施設外観(鳥瞰)>



<プラザ棟外観>



<プラザ棟エントランスホール>



<煙突展望台からの眺め>



<プラザ棟屋上庭園>

## ① 資源循環のつながり ～ストーカ炉+灰資源化による資源循環～

### ■ 国内最高水準の安全・安心な施設(最新技術)

- ・国内外で40年以上の安定稼働実績を有する逆送式ストーカ炉を採用し、20年間の運営期間を通じた安定、安心のごみ処理を行います。
- ・国内トップレベルの低空気比燃焼技術を取り入れた最新システムで、安全、安心のごみ処理を行います。

### ■ 循環型社会に配慮した施設(ごみ発電・灰資源化)

- ・国内最高水準の高効率ごみ発電に加え、太陽光発電を備えた資源循環型社会のシンボル施設として、CO2削減に貢献します。
- ・発電した電力は、場内利用のほか、プールやし尿処理施設などの隣接施設に供給し余った電力は売却します。売電収入を施設運営費の一部に充てることで、貴組合の財政負担の軽減にも貢献します。
- ・施設から出る焼却残さは、資源化企業3社が再資源化します。災害発生時などにおいても相互にバックアップすることで長期安定的に再資源化します。



<他施設事例  
蒸気タービン発電機>

## ② 地域とのつながり ～地域の生活環境に溶け込む施設～

### ■ 地域住民に安心して貰える施設(安全・安心運転)

- ・ハイブリッドバグフィルタ(触媒機能付きバグフィルタ)をはじめ、実績豊富な排ガス処理システムを採用し、法規制より大幅に厳しい国内最高水準の排ガス基準値(停止基準)を遵守します。
- ・さらに、停止基準より厳しい独自の上乘せ基準値での運転管理と、測定値リアルタイム表示による透明性の高い運営で地域への安心を提供します。

項目	停止基準	法規制
はいじん [g/m <sup>3</sup> N]	0.005	0.04以下
硫黄酸化物 [ppm]	10	約1,720以下 (K値=11.5)
窒化水素 [ppm]	10	430以下
窒素酸化物 [ppm]	50	250以下
PM <sub>2.5</sub> 類 [ng-TEQ/m <sup>3</sup> ]	0.05	0.1以下

<排ガス基準>

### ■ 周辺環境に溶け込んだ環境調和型の施設(周辺調和)

- ・煙突に展望台を設けたごみ焼却施設らしくないデザインで、地域のシンボルとなる外観とします。
- ・プラザ棟は、曲線的なカーテンウォールを用いた開放感のある施設とします。
- ・周辺に整備される公園と施設をつなぐ「地域共生の小道」など、要求水準の緑化率を上回る緑化で、公園との一体感が感じられる施設とします。



<地域共生の小道>

### ■ 防災の拠点となる施設(防災拠点)

- ・ごみ発電、非常用発電、太陽光発電の3重の電力供給源に加え、井戸水を生活用水に変える浄水装置を備えるなど、一時避難者や隣接施設に電気・熱・水を供給する防災エネルギー拠点として整備します。

## ③ 未来へのつながり ～堅牢な施設、魅力的なプログラム～

### ■ 経済性に優れた施設(経済性)

- ・施設の安定稼働と30年間のライフサイクルコストを考えた整備・運営を行います。
- ・約200施設でのごみ処理施設維持補修ノウハウをベースに、最新プラント診断技術を組み合わせ、経済性の高い維持管理を行います。



<エコ陶芸プログラム>

### ■ 市民生活・活動をサポートし、利用したいと思われる施設(環境啓発)

- ・ごみの創り出す電力で作るエコ陶芸など、ごみ処理施設ならではの多彩なプログラムにより、施設利用機会の増加を図ります。
- ・未来を担う子供たちの、環境に関する興味と環境向上の意欲を掻き立てる魅力ある施設見学プログラムを展開します。



<見学者通路>